

平成 28 年 x 月 x x 日
企業会計基準委員会

「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」の公表

当委員会は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（以下「日本基準」という。）及び修正国際基準（国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準）（以下「修正国際基準」という。）の開発を行っています。これらの会計基準の開発に関する予見可能性を高めるため、今般、当委員会における検討状況及び今後の計画をまとめ、公表することとしました。

本計画は、随時見直しを行っただうえで、公表することを予定しています。

なお、今後、当委員会の中期運営方針を公表することを予定しており、当該運営方針に今後の日本基準の開発に関する基本方針も記載する予定であります。

以 上

平成 28 年 x 月 x x 日
企業会計基準委員会

現在開発中の会計基準に関する今後の計画

平成 28 年 x 月 x x 日現在において、当委員会が取り組んでいる会計基準の開発に関する検討状況及び今後の計画は、次のとおりである。

I. 日本基準

1. 会計基準の開発

収益認識に関する会計基準

(主な内容)

平成 26 年 5 月に国際会計基準審議会 (IASB) 及び米国財務会計基準審議会 (FASB) から「顧客との契約から生じる収益」(IASB においては IFRS 第 15 号、FASB においては Topic 606) が公表されたことを踏まえ、我が国の会計基準の体系の整備を図り、高品質で国際的に整合性のあるものとする等の観点から、収益認識に関する包括的な会計基準の開発について検討を行っている。

(検討状況及び今後の計画)

これまでの検討を踏まえ、平成 28 年 2 月 4 日に、「収益認識に関する包括的な会計基準の開発についての意見の募集」(コメント期限：平成 28 年 5 月 31 日) を公表しており、今後、同意見募集に対して寄せられたご意見や適用上の課題を踏まえ、基準開発に向けてさらなる審議を行うことを予定している。

また、基準開発に向けた検討にあたっては、IFRS 第 15 号及び Topic 606 の強制適用日を踏まえ、平成 30 年 1 月 1 日以後開始する事業年度に適用が可能となるように会計基準の開発を進めることを当面の目標としている。

なお、公開草案を公表する前に、検討状況について何らかの形式¹で一般に意見を求めることも考えられるが、その点については、意見募集に寄せられたご意見や適用上の課題の内容を踏まえたうえで検討を行うことを予定している。

2. 会計基準を適用するうえでの指針(実務上の取扱いを含む。)の開発

(1) 税効果会計に関する指針

¹ 当委員会は、これまで公開草案を公表する前に、「論点整理」、「検討状況の整理」、「試案」等の形式で、一般に意見を求めた例がある。

日本公認会計士協会から公表されている税効果会計及び当期税金に関する実務指針について、必要な見直しを行ったうえで、当委員会の適用指針等に移管することを目的として、次の検討を行っている。これは、基準諮問会議から、日本公認会計士協会から公表されている税効果会計及び当期税金に関する実務指針を移管すべく審議を行うこと等の提言を踏まえたものである。

① 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針以外の税効果会計に関する適用指針及び当期税金に関する適用指針

(主な内容)

日本公認会計士協会から公表されている税効果会計に関する実務指針のうち、繰延税金資産の回収可能性については、平成 27 年 12 月 28 日に企業会計基準適用指針第 26 号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」を公表した。

現在、日本公認会計士協会における税効果会計に関する実務指針のうち同適用指針に含まれないものについて、必要な見直しを行ったうえで、当委員会の適用指針として移管することの検討を行っている。

なお、基準諮問会議から提言を受けている連結納税制度における新規適用・加入・離脱の際の税効果会計の取扱い及び企業結合における取得企業に係る税効果会計の取扱いの整合性については、当該検討に含めることを予定している。

また、日本公認会計士協会から公表されている監査・保証実務委員会実務指針第 63 号「諸税金に関する会計処理及び表示に係る監査上の取扱い」についても、必要な見直しを行ったうえで、当委員会の適用指針として移管することの検討を行っている。

(検討状況及び今後の計画)

平成 28 年 2 月より、本件に関する適用指針の公開草案の公表に向けた検討を行っているが、現時点において、公開草案の公表の目標時期は定めていない。

② 税効果会計に適用する税率に関する適用指針

(主な内容)

税効果会計に適用する税率の取扱いについて、適用上の課題に適時に対応する観点から、上述の実務指針全体の移管に先行して、必要な見直しを行ったうえで、当委員会の適用指針として移管することの検討を行っている。

(検討状況及び今後の計画)

平成 27 年 12 月 10 日に、企業会計基準適用指針公開草案第 55 号「税効果会計に適用する税率に関する適用指針 (案)」を公表しており、平成 28 年 3 月中に同適用指針を最終化

することを予定している。

(2) リスク分担型 DB（確定給付企業年金）に係る会計処理に関する指針

(主な内容)

平成 28 年度に新たに制度化することが予定されている企業年金制度である「リスク分担型 DB（確定給付企業年金）」に係る会計処理に関する指針を開発することを目的として検討を行っている。これは、厚生労働省から、基準諮問会議において、当該スキームに関する会計上の取扱いの明確化の提案がなされたことを踏まえたものである。

(検討状況及び今後の計画)

平成 27 年 12 月より検討を開始しており、平成 28 年 4 月から 6 月の間に公開草案を公表することを目標として検討を進めている。

(3) 一括取得型による自社株式取得取引に係る会計処理に関する指針

(主な内容)

米国で実施されている一括取得型による自社株式取得取引（ASR：Accelerated Share Repurchase）に係る会計処理に関する指針を開発することを目的として検討を行っている。本テーマについては、基準諮問会議からの提言に基づき、日本証券業協会の参考人から示された我が国における取引スキームについて検討を行っている。

(検討状況及び今後の計画)

平成 27 年 1 月より検討を開始しており、公開草案の公表に向けて検討を行っているが、現時点において、公開草案の公表の目標時期は定めていない。

(4) 権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理に関する指針

(主な内容)

権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理について、会計上の取扱いを明確化することを目的として検討を行っている。

(検討状況及び今後の計画)

平成 27 年 10 月より検討を開始しており、公開草案の公表に向けて検討を行っているが、現時点において、公開草案の公表の目標時期は定めていない。

(5) 公共施設等運営権に係る会計処理に関する指針

(主な内容)

プライベート・ファイナンス・イニシアティブ (PFI) 事業における公共施設等運営権に係る会計処理に関する指針を開発することを目的として検討を行っている。これは、内閣府から、基準諮問会議において、当該スキームに関する会計上の取扱いの明確化の提案がなされたことを踏まえたものである。

(検討状況及び今後の計画)

平成 28 年 1 月より検討を開始しており、平成 28 年 4 月から 6 月の間に公開草案を公表することを目標として検討を進めている。

(6) 実務対応報告第 18 号の見直し

(主な内容)

実務対応報告第 18 号「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」について、在外子会社が国際財務報告基準 (IFRS) に準拠している場合、資本性金融商品に関するノンリサイクリング処理について親会社の連結財務諸表を作成するうえで修正を要するとすべきか等について、修正項目の見直しを行うことを予定している²。

また、親会社が日本基準、国内子会社が IFRS を適用している場合、親会社の連結財務諸表作成において実務対応報告第 18 号を適用できるように実務対応報告を修正すべきかについても検討を行うことを予定している。

(検討状況及び今後の計画)

現時点において、本件について検討を開始していない。

(7) 「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱い

(主な内容)

企業会計基準第 21 号「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の一部が返還される場合の取扱いを検討することを予定している。

(検討状況及び今後の計画)

現時点において、本件について検討を開始していない。

II. 修正国際基準

(主な内容)

修正国際基準は、IASB により公表された会計基準及び解釈指針についてエンドースメント手続を実施することにより開発するものである。

² 実務対応報告第 24 号「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」も同様に検討を行うことを予定している。

(検討状況及び今後の計画)

平成 27 年 10 月より、平成 25 年 (2013 年) 中に IASB により公表された会計基準及び解釈指針について検討を開始しており、平成 28 年 3 月中に公開草案を公表することを目標として検討を進めている。

以 上

DRAFT